



報道関係者 各位

平成 31 年 4 月 26 日 (金)

【照会先】

大分労働局職業安定部

部 長 越橋 健太郎

労働市場情報官 川野 剛

電話 097-535-2090(内線 313)

大分県の雇用情勢 (平成 31 年 3 月分及び平成 30 年度分)

○ 有効求人倍率 **「1.58 倍」** (前月比 0.03P 上昇)

・ 4 か月ぶりに上昇し過去 2 番目の高い水準

・ 正社員有効求人倍率 前年同月比 0.08P 上昇の **1.19 倍**

(九州ブロックで 15 か月連続 1 位)

- ・ 県内の雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は、前月 (1.55 倍) から 0.03 ポイント上昇。4 か月ぶりに前月を上回り、過去 2 番目の高い水準。
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は、平成 27 年 2 月から 50 か月連続で 1.0 倍以上。
- ・ 有効求人数 (季節調整値) は、前月比 0.4% 増と 3 か月ぶりの増加。
- ・ 有効求職者数 (季節調整値) は、前月比 1.5% 減と 2 か月連続の減少。
- ・ 正社員有効求人倍率 (原数値) は、前年同月比 0.08 ポイント上回り、高い水準を維持。
- ・ 就業地別有効求人倍率 (季節調整値) は、前月比 0.04 ポイント上回り過去最高値を更新。
(※平成 30 年 12 月以前の季節調整値は、新季節指数により改訂されています。)

・ 平成 30 年度平均の有効求人倍率は **1.56 倍** で前年度比 **0.11 ポイント** 上昇。(過去最高)

・ 平成 30 年度平均の正社員求人倍率は **1.23 倍** で前年度比 **0.15 ポイント** 上昇 (過去最高)

1. 求人倍率の状況

- (1) 3 月の有効求人倍率 (季節調整値) は、有効求人数 (同) が 27,456 人と前月に比べ 0.4% 増加し、有効求職者数 (同) は 17,347 人と前月に比べ 1.5% 減少となったことから、前月から 0.03 ポイント上昇の **1.58 倍** となりました。(昭和 38 年 1 月から集計)
- (2) 正社員有効求人倍率 (原数値) は、前年同月を 0.08 ポイント上回る **1.19 倍** となり、平成 29 年 6 月から 22 か月連続の 1 倍台を維持しました。(平成 17 年 4 月から集計)
- (3) 就業地別有効求人倍率 (季節調整値) は、前月を 0.04 ポイント上回る **1.74 倍** となり、過去最高値を更新しました。(平成 17 年 2 月から集計)

2. 求人の状況

新規求人数 (原数値) は 10,091 人と前年同月比で **0.4% 減少** しました。

これを主要産業別で見ますと、宿泊業、飲食サービス業 (34.9%)、生活関連サービス業、娯楽業 (31.3%)、運輸業、郵便業 (9.0%)、医療、福祉 (2.5%) で増加となり、サービス業 (▲16.4%)、卸売業、小売業 (▲14.1%)、製造業 (▲9.1%)、情報通信業 (▲1.8%)、建設業 (▲2.3%) で減少となりました。

3. 求職の状況

新規求職申込件数 (原数値) は 4,762 人と前年同月比で **8.1% 減少** しました。

このうち常用フルタイム新規求職者数 (同) は 3,019 人と前年同月比で 7.3% 減少しました。

内訳は、在職者 1,249 人 (▲8.2%)、離職者 1,598 人 (2.8%)、無業者 222 人 (▲27.0%) となっています。

離職者を離職理由別にみますと、事業主都合 280 人 (▲0.4%)、自己都合 1,192 人 (▲4.5%) となりました。

4. ハローワーク別有効求人倍率の状況

ハローワーク別の有効求人倍率 (原数値) をみますと、最高は大分所の 1.86 倍 (前月 : 1.84 倍)、最低は別府所の 1.27 倍 (同 : 1.28 倍) となりました。

5. 雇用保険受給者の状況

雇用保険受給者実人員については、3,768 人と前年同月比で **1.0% 減少** しました。

6. 平成 30 年度の状況

平成 30 年度の有効求人は前年度に比べ 2.6% 増となり、有効求職者は 4.9% 減となりました。